

グローバル化する 中小企業経営

受講申し込み方法

受講申込用紙をFAX（パンフレット中にFAX用の受講申込用紙が挟んである場合ご利用ください）
または

- ① ウェブサイト (<http://www.kwansei-ac.jp/iba/>) から
大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信
- ② 申し込み日から3日以内に受講料（3,000円）を振り込んでください。
- ③ 10月下旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。
 - ・定員（95名）に達し次第申し込みを終了させていただきます。お早めに申し込みいただき、受講料を入金してください。
 - ・受付の終了はウェブサイトにてお知らせいたします。



関西学院大学 大阪梅田キャンパス
阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分
大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階・14階
TEL.06-6485-5611
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/



グローバル化する中小企業経営

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUNTING



関西学院大学経営戦略研究科

21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化するとともに、経済活動における急速なグローバル化は、企業をとりまく経営環境を大きく変化させています。そのことは、企業経営においても、既存のビジネスモデルやシステムを継続するだけの戦略が有効ではなくなっていることを意味しています。つまりこれからは、世界規模で流動化する多様なビジネスシーンに対して、適切かつ迅速に対応するとともに、新たなビジネスを主体的に創造する先駆的な戦略が求められているのです。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 (Institute of Business and

Accounting, IBA) では、これからの企業経営や日本社会に求められる、高度な専門知識とグローバルな視点、そして、国際レベルのスキルを備えた21世紀型ビジネスをリードする経営、会計のプロフェッショナルの養成をめざします。また、博士課程後期課程を置き、実践型研究者の養成にも取り組んでいます。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を開く、知性、国際性、人間性、そして豊かな倫理観を兼ね備えた真のビジネスとアカウンティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。

フルラインの学びを提供する 多彩なプログラム

経営戦略研究科には、世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール（経営戦略専攻）」と、グローバル経済と地域経済に貢献し得る職業会計人の養成をめざす「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」の2つの専攻が設置されています。「ビジネススクール」には、社会人を対象に多様なプログラムを提供する「企業経営戦略コース」と、大学新卒者・外国人留学生を対象にすべての授業を英語で行う「国際経営コース」があります。また、「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」には、公認会計士・税理士、企業の経理財務監査スペシャリスト、会計に強い公務員をめざす3つのプログラムがあります。さらに、応用性の高い研究に積極的に取り組む実践型研究者の養成の場として「先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）」を設置しています。

	専門職大学院	大学院
経営戦略研究科 (IBA)	ビジネススクール (経営戦略専攻) 企業経営戦略コース <small>2年修了 週末・平日夜間に授業実施</small> 国際経営コース <small>2年修了 昼間を中心に英語で授業実施</small>	先端マネジメント専攻 (博士課程後期課程) 社会との関係を重視し、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を追求します。 3年修了。昼間。
	アカウンティングスクール (会計専門職専攻) <small>2年修了 昼間と夜間・週末に授業実施</small>	

詳しくは、 <http://www.kwansei-ac.jp/iba/> をご参照ください。

【個人情報の取り扱いについて】

関西学院大学では、本学が提供する公開講座の申し込み時に、皆さまの個人情報の提供をお願いする場合があります。また、ご提供いただいた個人情報は、公開講座運営のため、および公開講座にお申し込みいただいた皆さまに対し、本学の提供する教育機会についてのお知らせをさせていただくなど、社会に開かれた大学としての責務を果たしていくために限り、利用させていただきます。本学は、ご提供いただいた個人情報を取扱う場合は、個人情報に関する法令を遵守し、すべての教職員が、機密性を保護する取り組みを実施することにより、プライバシーを尊重し、本学に対する期待と信用に応えてまいりたいと考えています。

大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室

TEL:0798-54-6572

E-Mail: ibaseminar@kwansei.ac.jp



大同生命 寄付講座

「グローバル化する中小企業経営」

開催趣旨

世界経済のグローバル化が急速に進む中、一方では英国によるEU離脱、中国経済の減速、新興国経済の足取りの鈍さ、ロシア・ブラジルなどの資源国の景気低迷などの新たな環境変化が起こっています。激動する世界経済の中で、我が国の企業、特に中小企業はどのようにグローバル化に対処すべきかを考えたいと思います。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科では、これからの革新的な中小企業に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点を備えたプロフェッショナルの養成を目指しています。このたび本研究科は、大同生命保険株式会社の協力を得て「グローバル化する中小企業経営」をテーマに公開講座を開設します。企業の持続的な成長や海外戦略、海外での市場開拓、人材養成などの切り口から、本研究科の特色である「理論と実務の融合」を感じて頂きたいと思っています。多くの皆様にご参加いただけることを願っております。

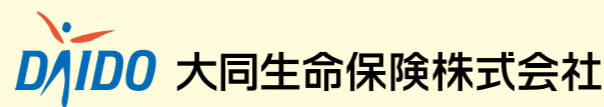
会場	関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1405教室 [大阪市北区茶屋町19-19 アブロースタワー14階]	
定員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。	
受講料	3,000円 (全日程分。資料、懇親会費を含みます)	
日程	11/12 土曜日	<p>13:00~13:30 受付</p> <p>13:30~15:00 「グローバル経済の中の日本企業」 中野 昌治 (東銀リース副社長)</p> <p>15:10~16:40 「海外事業展開による持続可能な経営戦略」 村元 四郎 ((公財) ひょうご産業活性化センター統括コーディネーター・(株)村元工作所特別顧問) コーディネーター 佐竹 隆幸 (関西学院大学経営戦略研究科教授)</p> <p>16:40~17:10 経営戦略研究科の御紹介 玉田 俊平太 (関西学院大学経営戦略研究科教授・副研究科長)</p> <p>17:45~19:45 懇親会 会場: ホテル阪急インターナショナル4階 「紫苑」</p>
	11/13 日曜日	<p>13:30~14:00 受付</p> <p>14:00~15:30 「中小企業のアジアビジネス展開 -知っておきたいリスクマネジメント-」 木内 達也 (有限責任監査法人トーマツ シニアマネージャー 公認会計士・神戸市海外ビジネスセンター アドバイザー)</p> <p>15:40~17:10 「現代中小企業の海外事業展開」 佐竹 隆幸 (関西学院大学経営戦略研究科教授)</p>

ごあいさつ —寄付講座開設にあたって—

大同生命は、「中小企業の継続的な発展を応援していきたい」という想いをお伝えする取組みとして、創業100周年を迎えた平成14年度より、全国各地の大学で寄付講座を開催してまいりました。

これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただき、関西学院大学様では通算10回目の開催となります。

未来に向けてこれからも中小企業のみならずともに歩んでいくために、当講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるようご支援してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸いです。



(ホームページ) <http://www.daido-life.co.jp/>

講座概要

11/12
土曜日

「グローバル経済の中の日本企業」

「グローバル経営と日本企業」という大項目のなかの「グローバル経済のなかの日本企業」という小項目で講演を行います。まずグローバルとインターナショナルという言葉の違いを考えたい。グローバルにはインターナショナルに比べて普遍性の響きが強くと考える。従ってグローバル経済のなかの日本企業という題は、「経済が地球規模で普遍化するなかでの日本企業のあり方」と言い換えることができる。確かに世界経済は地球規模化し普遍化する傾向にある。このなかで日本企業のその経営のあり方を世界標準、すなわち普遍化の流れに身を置こうとしている。これには有益な一面もあるが、これが過剰になる場合には却って会社の経営に害を与える場合もあると考える。この観点にたつて、会社組織、会社人材、会社統治等について検討してみたい。



なかのしょうじ
中野 昌治

東銀リース副社長
元三菱東京UFJ銀行常務執行役員
欧州・中近東・アフリカ本部長
元三菱UFJリサーチ・アンド・コンサルティング副社長

東京銀行(現三菱東京UFJ銀行)に1980年に入行。主に海外畑を歩み、海外での勤務地はロンドン(4回)、ニューヨーク、上海。業務としてはM&A、リース、プロジェクトファイナンス、日系大手企業営業に加え、外資系企業取引にも従事した。銀行での最後の職務は常務執行役員欧州・中近東。アフリカ本部長であり、同地における業務推進・会社統治の責任者の任を4年間担当した。

13:30~15:00

「海外事業展開による持続可能な経営戦略」

海外事業展開を決断したのは、1985年のプラザ合意によるドル安誘導政策で、今後の受注に大きな影響が予測されたことにはじまる。急激な円高で海外生産と海外調達が進み、国内のコスト競争力が弱まり、情報・技術・ヒト・モノ・資金等が国境を越え、グローバル市場の需要と供給で価格が決まる時代となっている。グローバル化された経済社会ではビジネスチャンスは日本だけでなく、世界中にあるとの認識が不可欠となり、すなわち、「グローバルサプライズチェーン」(海外でモノをつくるシステム)をつくりあげることが重要であった。一方で海外事業展開が国内の産業空洞化を招き、国内の需要減少につながるといった見方もあるが、取引先や顧客の期待に応えるためには、経営の健全化に注力しなければなりません。当社の海外事業展開は、決して拡大基調の海外戦略を取ってきたのではなく、顧客の期待に応えるという自然体で取り組んできたものです。本講座では、海外事業展開が存立基盤を強固なものにし、同時に地域経済にも貢献してきた、神戸の中小企業のお話をします。



むらもと しろう
村元 四郎

公益財団法人ひょうご産業活性化センター
統括コーディネーター
株式会社村元工作所 特別顧問

1961年株式会社村元工作所入社、1966年12月同社代表取締役就任。海外現地法人代表取締役を歴任し、2002年12月から現職。現在、公益財団法人ひょうご産業活性化センター統括コーディネーター、一般社団法人神戸市機械金属工業会顧問、公益財団法人兵庫工業会副会長、学校法人親和学園評議員会評議員、神戸市海外ビジネスセンター顧問等の役職をつとめる。1935年の創業以来、ものづくりに取り組み、プレス加工からはじめ、金型、樹脂成形、基板実装、塗装・印刷、メッキ、加工・組立にいたるまで事業領域を拡大、1987年タイへの海外展開以来、現在、世界7カ国に8現地法人の海外拠点を有する企業グループに成長。2015年に創業80年を迎えた。

15:10~16:40

懇親会

講座終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。
会場: ホテル阪急インターナショナル4階 「紫苑」

11/13
日曜日

「中小企業のアジアビジネス展開

-知っておきたいリスクマネジメント-

海外事業展開を行う中小企業は、急激に増加している。特にアジアへの海外展開が増加の傾向を示している。海外の事業展開はこれまで大企業が行なうものであるという認識から今では、中小企業こそが海外に市場を開拓し、自社の事業領域を拡大することによって存立基盤を強固なものにし、持続成長可能な企業経営へと進化している。

現地の円滑な経営体制を確立するには、事業展開する国々の事情を的確に把握し、万全の準備をしておかなければ、簡単なことではない。これまで中小企業のアジアビジネス展開を実践的にサポートしてきた経験にもとづき、アジアで活躍する企業事例を紹介しながら、中小企業が海外事業展開の際に必要な知識や行動のあり方、リスクマネジメントの具体策を紹介する。海外事業展開への準備不足に陥らないヒト・モノ・カネ・情報の視点から考察し、経営の現地化とは何かをお話いたします。



きうち たつや
木内 達也

有限責任監査法人トーマツ
シニアマネージャー
公認会計士
神戸市海外ビジネスセンター アドバイザー

1996年、大手監査法人入所。8年間、主に上場企業の監査や、株式公開準備業務に従事。2004年から2008年までの4年間、日系企業担当としてシンガポールに駐在。主に日系企業の監査や会計・税務に関するアドバイザー業務に従事。2009年に帰国後、2015年3月までは主に日本企業のアジア進出支援、アジア証券市場への株式上場支援、クロスボーダーM&A支援等に従事。2015年4月、有限責任監査法人トーマツ大阪事務所入所。株式上場支援、日本企業の海外展開支援等に従事。2013年より神戸市アジア進出支援センター(現神戸市海外ビジネスセンター)・アドバイザー。著書「シンガポールの会計・税務・法務Q&A(税務経理協会)」アジアに関するセミナー、執筆多数。

14:00~15:30

「現代中小企業の海外事業展開」

日本企業の国際化、グローバル化の進展はもはや避けられない現象である。一般に国際化は国と国の間で生じる現象であるのに対し、グローバル化は地球規模で起こり、いわゆるボーダレスとなっている。これまで日本の諸外国との輸出入・交易関係のみで国際化が分析検討されてきたが、グローバル化の時代に入り、外国企業の脅威、日本企業の海外展開、経営資源の国際移転といった経営現象が生じ、高度なレベルでの戦略展開が不可欠となっている。中小企業のグローバル戦略を支援することが地域経済に好影響を及ぼすとの視点に立ち、企業が海外展開する要因と実態を検証し、さまざまな観点からの戦略的・政策的含意を紹介しながら、中小企業の国際化・グローバル化と産業政策との関係を通じて日本の経済成長と中小企業の海外事業展開との関係性を読み解き、中小企業の海外事業展開がイノベーションへと進化しているポイントについてお話いたします。



さたけ たかゆき
佐竹 隆幸

関西学院大学経営戦略研究科教授
博士(経営学) 兵庫県立大学
兵庫県立大学名誉教授

関西学院大学経済学部卒業、関西学院大学大学院経済学研究科博士後期課程退学、兵庫県立大学(旧神戸商科大学)教授を経て、兵庫県立大学名誉教授。中小企業・産業構造・企業倫理・地域振興を中心に研究活動に従事。日本中小企業学会副会長、兵庫県地域創生戦略会議議長、ひょうご産業活性化センター評議員、兵庫県中小企業家同友会経営環境改善委員会会長、その他行政等の役職多数。(株)メック取締役(社外)、サンテレビ「キラリけいざい」、「ニュースポード」、ラジオ関西「時間です!」林編集長のレギュラーコメンテーターを務める。著書:「[地]的経営のすすめ」(神戸新聞総合出版センター、2012年)、「[人]財経営のすすめ」(神戸新聞総合出版センター、2014年)、「現代中小企業の海外事業展開」(ミネルヴァ書房、2014年)。

15:40~17:10